

第23回全日本中学生都道府県対抗11人制ホッケー選手権大会 における新型コロナウイルス感染防止対応策について

公益社団法人 日本ホッケー協会中学校部会

【1. 当大会への参加について】

- ①大会に参加する選手は、トレーニングを十分積んだ上で参加すること。
- ②大会開催地への移動は、指導者の引率により、バス等による移動が望ましいが、難しい場合は公共交通機関での利用を可とする。バス等による移動の際は換気に十分気を付けるとともにマスク着用を義務付ける。
- ③大会参加チームは、参加選手の状態を健康観察表により把握する。（大会1週間前から大会1週間後まで実施。）
 - 体温、体調（咳の有無、のどの異常の有無、味覚等）
 - 同居者の状態
 - 外出の有無 等
- ④以下の事項に該当する場合は、当該選手について当大会への参加はさせない。また、下記に該当する選手がいる場合、チームの参加については実行委員会の指示を仰ぐ。
 - 体調がよくない場合（例：発熱、咳、咽頭痛などの症状がある場合）
 - 同居家族や身近な知人に感染症が疑われている方がいる場合
 - 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合。
 - 本人が感染症陽性だったが大会数日前に回復し、保健所の許可が出た場合。
- ⑤保護者が活動内容を理解し、参加を承諾していることを条件とする。
（了承を得られない場合は、参加させない。）

【2. 大会期間中の生活面・環境面について】

ピッチ以外の生活の中で感染しないために、「密閉」（換気の悪い場所）、「密集」（多くの人が集まる場所）、「密接」（人と人の距離が近い場面）これらのいわゆる三密を回避するとともに、マスクの着用、こまめな手洗い、うがいなど基本的な感染対策を徹底する。

- ①会話をする場合はマスクを着用し、ソーシャルディスタンスを十分にとる。
- ②食事について
弁当やテイクアウトを基本とするが、レストランを利用する場合は、以下のことを徹底する。
 - レ レストラン入り口で、アルコール消毒をおこなう。
 - レ 食事まではマスクを着用する。
 - レ レストラン内では会話を控えて食事をする。
 - レ 食事時間を可能な限り分散する。
- ③密室でのミーティングはおこなわない。

【3. その他】

- ①大会当日は、チーム全員の体調等について健康観察表により、体温、体調のチェックをおこない、会場に入場した選手の一覧を受付に提出する。
- ②会場に入場する際は、実行委員会が発行するADカードを着用すること。
- ③フィールドへの出入りは、決められた場所からおこなう。
- ④練習前、後とも手を洗い消毒をおこなう。
- ⑤道具の管理、徹底について
 - 自分のスティックや防具、装具は自分だけが使用し、他の選手が身につけたものは着用しない。
原則、GK道具は自分のものしか使わない。
- ※PCのフェイスマスクやグローブについても、名前を記入し、もしくはマークを付けるなどして共用を避ける工夫をすること。（試合前にTOによる確認をおこなう。）
 - チーム備品であるボール等についても、極力手で触らないようにし、触った後に手指の消毒を必ずおこなう。
 - ピッチ上（含ベンチ内）でマウスピースを洗わない。手でマウスピースを触らない。マウスピースを触ったら、必ず手洗いを励行する。
 - 水筒、汗拭きタオルなど個人で使用するものを持参し、共有しない。
- ⑥チームベンチは使用したチームがベンチを離れる際に消毒作業をおこなう。各チームは、消毒作業が終了するまで次試合テントで待機をする。
- ⑦大会期間中、発熱などの症状が確認された選手、・スタッフは直ちに活動を中断し、大会実行委員会に速やかに申し出ること。大会実行委員会は、当該選手等の隔離など適切な対応をおこなう。
当該チームは、医療機関への受診を指示された場合には速やかにその指示に従うこと。
- ⑧トイレ以外の場所でつばを吐いたり、鼻水、痰（たん）を吐いたりしない。特にピッチ上では厳禁とする。
- ⑨本大会は、有観客により実施をする。なお、感染状況によっては入場を制限する場合がある。
チーム応援者は、決められた場所で観戦をおこなうこととし、発声をしての応援等はおこなわず、拍手による応援とする。また、チーム応援者は、（1）身体的距離の確保（2）マスクの着用（3）こまめな手洗い・消毒など基本的な感染対策を徹底する。